



PRESS RELEASE

Osaka Convention & Tourism Bureau

公益財団法人 大阪観光局
大阪府中央区南船場 4-4-21
TODA BUILDING 心齋橋 5 階
TEL (06)6282-5900 (代表)

2026 年 8 月 27 日
公益財団法人大阪観光局

「guntû(ガンツウ)」大阪特別航路 「海がつないだ記憶 3 日間」が盛況のうちに終了

公益財団法人大阪観光局(理事長:溝畑 宏)は、ツネイシ ランド & シー株式会社(代表取締役社長:梅田幸治)が運航する客船「guntû(ガンツウ)」による大阪特別航路(8 月 21 日出航)が無事終了したことをご報告いたします。



大阪港へ入港するガンツウ

「せとうちの海に浮かぶ、ちいさな宿」をコンセプトとする客船 guntû は、全 17 室の客室を備えた上質な空間で瀬戸内の文化や風景をゆったりと味わう船旅を提供しています。2025 年夏に続き本年も guntû 大阪特別航路が実現しました。

大阪観光局では、瀬戸内海エリアと大阪を結ぶ広域観光の推進に取り組んでおり、本航路においても大阪府域の観光コンテンツの企画協力や食の魅力発信等を通じて連携を行いました。

本航路は、「海がつないだ記憶」をテーマに、古くから人や物、文化の交流を支えてきた瀬戸内海と、水運によって発展した大阪とのつながりに着目した特別企画です。参加者は船旅を通じて、海が育んだ大阪の歴史や文化、人々の営みに触れました。

■ 海がつないだ文化と人々の営みを辿る 3 日間

人や物資、文化が行き交う「海の道」は、古くから重要な役割を担ってきました。本航路では、その恩恵を受けながら発展してきた地域を訪ね、地域に根付く歴史や文化の背景を知る船旅が展開されました。

乗船前には大阪城西の丸庭園「豊松庵」にて大阪城天守閣の跡部館長のお話を聞きながら茶事を体験。大阪の歴史と文化に触れながら、本航路のテーマである「海がつかない記憶」を感じる旅の幕開けとなりました。

2日目には guntû ならではの魅力のひとつである、漁船から直接魚を受け取る「船上仕入」を実施。大阪湾で水揚げされた新鮮な魚介類が船内へ届けられ、食を通じて地域の恵みを体感します。

船外体験では、堺にある名刹・南宗寺にて裏千家による茶事を開催。さらに、遠山典男氏(茶室建築家・研究者)と宮崎博之氏(元・淡交社『なごみ』編集長)による対談を通じて、堺と茶の湯文化の発展について理解を深めました。

最終日には、だんじり祭を目前に控えた泉州・岸和田地域を訪問。だんじり小屋を巡りながら、地域の人々によって受け継がれてきた祭礼文化や共同体の結びつきを感じるとともに、泉州ならではの力強い「動の文化」を体感しました。その後、「公諷庵」の能舞台にて、講談師・玉田玉秀斎氏による講談が披露され、旅の締めくくりにあふさわしいひとときとなりました。

行程内では、瀬戸内の旬の食材とともに、大阪の食文化や地域の魅力を感じられる特別な体験が提供されました。

移動そのものを楽しむガンツウならではの滞在型クルーズと、船内での滞在体験と各寄港地での文化体験が一体となり、瀬戸内と大阪が海を通じて育んできた歴史や文化を感じる航路となりました。



岸和田 公諷庵での講談



岸和田沖 船上仕入れ



「大阪産（もん）」をふんだんに取り入れた食材

今後の展望

大阪観光局は今後も、瀬戸内海と、その始終着点のひとつとして発展してきた大阪との歴史的なつながりを活かし、瀬戸内海エリアとの広域連携による観光振興に取り組んでまいります。

大阪発着による広域周遊観光の可能性を広げるとともに、バイエリアにおける観光コンテンツの充実と魅力発信を進め、国内外からの来訪者の多様なニーズに対応してまいります。

また、「guntû 大阪特別航路」についても継続的な実施を目指し、関係事業者と連携しながら、大阪と瀬戸内を結ぶ新たな観光資源としてさらなる発展を図ってまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ】

公益財団法人 大阪観光局 観光事業部 中村(仁)・塩見

Tel: 06-6282-5910 Mail: tourism@octb.jp